

街区公園における公園愛護会の運営状態と促進条件に関する研究

—横浜市都筑区を対象として—

Study on administration conditions and promotional factors of the park management societies in the block parks. – A case study of Tsuzuki Ward, Yokohama City-

堅田 圭*・武藤 嵩弥*・室田 昌子**

Kei Katada *・Takaya Muto *・Masako Murota**

The aim of this study is to clarify actual situation of the park management groups and promoting conditions of operation of the groups. We conducted the investigation of surrounding environment of neighborhood parks on Tuzuki Ward, in Yokohama City and questionnaires to the management groups. As a result, promoting conditions of the block park management is impacted by relationships among neighborhood associations and other public spaces.

Keywords: Block Park, Park management groups, Management activity, Yokohama City
 街区公園、公園愛護会、管理活動、横浜市

1章 研究の背景と目的

都市公園の管理は、自治体や指定管理者が重要な役割を担っているが、住民も大きな役割を担う地域は多い。特に身近な街区公園では、公園愛護会や公園アドプト制度、公園ボランティアなどにより、公園管理や活用が図られている。

横浜市は、全国に先駆けて 1961 年に公園愛護会制度を設立し、以降、各地で地元主体の公園管理が行われている。しかし、活発な活動が行われている公園もあれば、盛んではない公園もあり多様である。特に、横浜市のなかでも港北ニュータウンのある都筑区は、自治会町内会加入率は横浜市内で常に最低水準であり、公園愛護会も活動に差異があると考えられる。

なお、これまでの街区公園の管理に関する研究は、様々な視点から調査されている。佐藤らの街区公園の公園利用者を対象とした調査から公園の清掃管理の改善点を明確にした研究、中島の、広島市での街区公園指定管理者制度による住民による公園管理の普及に向けた提案などがある。公園愛護会を対象とした論文の例として、遠藤らの、地区公園を対象とした公園愛護会制度の管理内容や地域に与える効果に関する研究がある。

そこで本研究では、横浜市都筑区を対象に、街区公園の立地及び規模や設備状況を把握し、街区公園の公園愛護会の活動内容を把握する。その上で、街区公園を拠点とした公園愛護会の活動を活性化させる要因は何か明らかにし、公園愛護会活動を促進するための糸口を見つける事を目的とする。

2章 調査対象と方法

本研究では横浜市都筑区に設置された 99 件の街区公園とこれらを活動拠点とする 92 件の公園愛護会を対象とし、各種調査を行なった。

横浜市都筑区のウェブサイトや都筑区役所から頂いた資料(都

筑区ガイドブック)及び地図ソフト(ゼンリン地図 都筑区)より、横浜市都筑区の街区公園 99 ヶ所の概要の内訳と周辺の歩行者専用道路、緑道、地区公園・近隣公園、学校、幼稚園・保育園の関係性を調査した。

また、都筑区の公園愛護会の実態把握のために、都筑区内街区公園 99 ヶ所の内愛護会が結成されている 92 ヶ所の愛護会長の方にアンケートを用いて調査を依頼した。アンケート調査概要は表 1 の通りである。

・配布：92 件	・回収：49 件(回収率 53%)
・協力：都筑区 都筑土木事務所	
〈街区公園季刊誌への同封による配布〉	
・実施期間：平成 25 年 7 月 10 日(水)	
～平成 25 年 7 月 24 日(水)	

表 1：アンケート調査項目概要

質 問 項 目	Q1	公園内設備個数
	Q2	日常的管理活動
	Q3	日常的管理活動における他団体との連携
	Q4	イベント活動
	Q5	公園の利用状況
	Q6	公園愛護会長とメンバー
	Q7	愛護会の活動資金
	Q8	地域コミュニティの活性化につながる特徴的な活動
	Q9	公園を管理する上で困ったこと
	Q10	愛護会長の居留意識
	Q11	
	Q12	地域交流意識

* 非会員 東京都市大学環境情報学部環境情報学科(Tokyo City University)

**正会員 東京都市大学環境情報学部環境情報学科(Tokyo City University)

3章 街区公園の概要

都筑区の街区公園の規模や立地については表2の通りである。

行政資料、立地調査及びアンケートQ1の「公園内設備個数」に関する質問より、都筑区の街区公園は面積1,001～2,001㎡、公開年は港北ニュータウン事業の着工～竣工までの期間に公開された公園が多い結果となった。設置物は遊具、ベンチ共に約3割の公園に設置されており、街区公園は地区公園や近隣公園に比べ、比較的小さな面積のものが多いため、このような結果となったと考える。周辺立地状況においても、前述のように街区公園は近隣の住民の利用を目的として設置されるため、開発区域内の公園が殆どという結果になったと考える。都市公園及び施設、道路との関係では、歩行者専用道路と隣接関係にある公園が約半数で、緑道及び地区・近隣公園と隣接関係にある公園はわずかであり、誘致距離250m圏内に施設がある公園も1割程度であった。これは、殆どの公園が住宅地に設置されていることが要因だと考える。

表2：公園概要及び周辺立地状況

街区公園概要		件数	構成比	周辺立地状況		件数	構成比
面積 (㎡)	150～1,001	20	20%	開発 区域	開発事業区域内	95	96%
	1,001～2,000	46	46%		開発事業区域外	4	4%
	2,001～3,000	23	23%	隣接 関係	歩行者専用道路	44	44%
	3,001～12,807	10	10%		緑道	5	5%
公開 年	1960～1972年	4	4%	250m 圏内 施設 関係	地区・近隣公園	2	2%
	1973～1986年	20	20%		学校等	6	6%
	1987～2000年	71	72%		幼稚園	14	14%
	2001～2011年	4	4%		小学校	13	13%
設置 物	遊具	190	31%	緑道	18	18%	
	ベンチ	181	29%	地区公園	5	5%	
	その他	250	40%	近隣公園	9	9%	

4章 街区公園の運営実態

街区公園愛護会の運営における各活動を、①掃除やマナー啓発など公園の管理に関わり且つ日常的に行うとされる活動である「日常的管理活動」、②祭事やラジオ体操など年間不定期に行われる活動である「イベント活動」の2つに分類し、これらの活動の特徴をアンケートの集計によって調査した。

4-1. 日常的管理活動実態

アンケートの「日常的管理活動」に関する質問のうち、管理活動毎の活動日数を表にまとめた。掃き掃除、除草はほとんどの公園、次いで樹木の選定、花の世話、行政主催の定例会への参加は回答していただいた公園の半数にて定期的な実施を確認することができた。また、横浜市から発行されている「公園愛護会マニュアル」によると、横浜市からは公園愛護会による管理について『①除草、②清掃、③利用者へのマナー指導、④土木事務所への施設や遊具の不具合の報告』（一部抜粋）を依頼しているとされていることから、掃き掃除、除草の活動頻度および実施公園数の高さがうかがえる。また、マナー指導に関しては本項目にて質問したマナー啓発とは別に、土木事務所との共同で設置されている「公園利用上のマナー看板」の設置という形で実施されている

と推察できる。

続いてアンケートQ2のうち、管理活動毎の人数規模を表にまとめた。活動場所となる街区公園が他種の公園と比べ、小規模な面積であるため、全体的に小単位の人数で活動を行う傾向にある。定例会や町内会会合への参加など、愛護会会長をはじめとした代表者が出席する活動等が最小規模で実行されているのは勿論のこと、掃き掃除や除草等他団体との連携が多く見られる活動は比較的大規模の人数で活動する結果が確認出来た。

表3: 日常的管理活動毎の活動日数/参加人数規模

管理活動日数*	年一回以下		年一回		月一、二回		週一、二回		ほぼ毎日		特定期間集		日数無記入		合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
掃き掃除	0	0%	10	20%	29	59%	3	6%	0	0%	0	0%	2	4%	42	
除草	2	4%	24	49%	11	22%	1	2%	0	0%	1	2%	2	3%	39	
樹木剪定	8	16%	13	27%	3	6%	0	0%	0	0%	1	2%	3	5%	25	
花の世話	0	0%	8	16%	6	12%	3	6%	5	10%	1	2%	5	23%	23	
定例会参加	7	14%	15	31%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	2	23%	23	
町内会会合参加	2	4%	7	14%	10	20%	1	2%	0	0%	1	2%	3	21%	21	
防犯灯チェック	3	6%	3	6%	5	10%	1	2%	0	0%	1	2%	3	13%	13	
マナー啓発	3	6%	2	4%	1	2%	0	0%	3	6%	2	4%	4	11%	11	
堆肥作り	1	2%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%	3	6%	0	7%	7	
その他	0	0%	1	2%	0	0%	1	2%	1	2%	0	0%	1	3%	3	
合計	26	53%	86	176%	66	135%	10	20%	9	18%	10	20%	25	207%	207	

管理活動人数*	掃き掃除	除草	樹木剪定	花の世話	定例会参加	町内会会合参加	防犯灯チェック	マナー啓発	堆肥作り	その他	合計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
1～9人	14	29%	12	24%	17	35%	21	43%	23	47%	17	35%
10～59人	24	49%	25	51%	8	16%	5	10%	2	4%	8	16%
60～100人以上	6	12%	3	6%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
人数無記入	0	0%	1	2%	3	6%	1	2%	0	0%	3	6%
合計	44	49%	41	84%	28	57%	28	57%	25	51%	24	49%

*複数回答項目。構成比の分母は回答公園件数の「49」とする

4-2. イベント運営実態

アンケートの「イベント活動」に関する質問から、回答をいただいたイベントをそれぞれ「祭事・季節行事系」、「レクリエーション・運動系」、「その他管理系」の3系統に分類し、各イベント系統の連携団体及び参加人数を表にまとめた。イベント系統の内訳は以下の通りである。

表4：イベント系統内訳

イベント系統	イベント系統		
	祭事・季節行事系	レクリエーション・運動系	その他管理系
内 訳	餅つき大会	バーベキュー、各種食事会	防災訓練
	羊煮会	グランドゴルフ大会	町内交流会
	どんど焼き	ラジオ体操	夜間防犯パトロール
	花見	その他スポーツ系イベント	大規模な清掃活動
	七夕		
	夏祭り		
	盆踊り、納涼祭、夕涼み会		
	その他祭事		

イベント系統毎の連携団体別の集計では、自治会・町内会は全てのイベント系統で多数の連携が見られる。子供会や老人会等は「祭事・季節行事系」「レクリエーション・運動系」それぞれで連携が見られ、「その他管理系」に関しては、前述のように防災訓練や防犯パトロールなど、内容が特殊であるため、それに応じた連携団体の見られる「その他」の団体や、それらの活動の需要が高い「学校」が連携・参加する傾向にある。

続いて、大掛りなイベントの多い「祭事・季節行事系」では、それに伴って中～大規模の参加人数に集中している。対してラジオ体操等小規模なイベントの開催に関する回答の多い「レクリエーション・運動系」では、最小規模の参加人数へ集中している。防災訓練や清掃活動等、特殊なイベントの多い「その他管理系」では小～最大規模の参加者による開催が見られ、参加人数の傾向は多様である。

表 5: イベント系統毎の連携団体/参加人数

イベント系統*	連携団体															
	子ども会		PTA		老人会		自治・町内会		ボランティア		学校		その他		合計	
	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	
祭事・季節行事系	6	12%	0	0%	1	2%	25	51%	0	0%	0	0%	5	10%	37	76%
レクリエーション・運動系	8	16%	2	4%	1	2%	15	31%	0	0%	0	0%	11	22%	37	76%
その他管理系	0	0%	0	0%	0	0%	9	18%	1	2%	2	4%	5	10%	17	35%
合計	14	29%	2	4%	2	4%	49	100%	1	2%	2	4%	21	43%	91	-

イベント系統*	参加人数															
	99人以下		100～199		200～299		300～399		400～499		500以上		無記入	合計		
	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)	件数(%)	構成比(%)		
祭事・季節行事系	4	8%	11	22%	8	16%	3	6%	4	8%	7	14%	0	0%	37	76%
レクリエーション・運動系	18	37%	4	8%	5	10%	0	0%	0	0%	10	20%	10	20%	37	76%
その他管理系	6	12%	7	14%	2	4%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	17	35%
合計	28	57%	22	45%	15	31%	3	6%	4	8%	9	18%	10	20%	91	-

*複数回答項目。構成比の分母は回答公園件数の「49」とする

4.3. 利用状況について

アンケートのうち、「利用者の多い時」間帯と「利用者の属性」を問う質問から、平日・休日それぞれの時間帯の利用者の属性の数とその構成比をまとめた。(表 6 参照)小学生の利用が全体的に多いこと分かるが、その中でも平日は小学生、休日は親子連れでの利用率がそれぞれ高まる傾向にある。

時間帯別に見てみると小学生は平日の昼から夕方の利用率が上昇し、親子連れは平日休日の昼、保育園・幼稚園生は平日の昼、老人会は平日の朝の利用率が高い傾向にある。これは、小学生であれば「授業の終わった夕方」、親子であれば「保護者が家事等を終えた昼」といったように、利用者毎の余暇の時間が要因となった結果であると考えられる。(表 6 参照)

表 6: 平日・休日の時間帯毎の利用者規模/属性

時間帯	利用規模	件数	構成比	時間帯別利用属性	回答件数	小学校低学年	小学校高学年	親子	老人会	保育・幼稚園	飼い主	その他	無回答
						件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
平日*	朝	2	4%	朝	11	10	20%	2	4%	5	10%	2	4%
		4	8%			構成比	10	4%	10	4%	0	0%	2
	昼	7	14%	昼	20	17	35%	4	8%	12	24%	4	8%
		構成比	10			4%	8	16%	0	0%	0	0%	
	夕方	5	10%	夕方	22	20	41%	8	16%	9	18%	3	6%
		構成比	16			31%	6	12%	5	10%	0	0%	0
夕方～夜	5	10%	夕方～夜	22	41	96%	16	36%	18	41%	6	14%	
	構成比	14			31%	26	58%	12	27%	15	34%	0	0%
該当なし	0	0%	合計	53	47	96%	14	29%	26	53%	12	24%	
合計	32	65%	構成比	53	96%	29%	53%	24%	31%	0%	0%	2%	
休日*	朝	7	14%	朝	13	10	77%	5	38%	7	54%	4	31%
		16	33%			構成比	7	31%	4	31%	0	0%	0
	昼	15	31%	昼	23	16	70%	7	30%	15	65%	4	17%
		構成比	7			30%	6	26%	2	9%	6	26%	0
	夕方	8	16%	夕方～夜	17	15	88%	6	35%	7	41%	3	18%
		構成比	14			29%	15	88%	6	35%	3	18%	5
夕方～夜	12	24%	合計	53	41	84%	18	37%	29	59%	11	22%	
	構成比	2			4%	18	37%	29	59%	11	22%	15	31%
該当なし	2	4%	合計	53	41	84%	18	37%	29	59%	11	22%	
合計	74	151%	構成比	53	84%	37%	59%	22%	31%	6%	0%	2%	

*複数回答項目。構成比の分母は回答公園件数の「49」とする

また、公園利用における問題点をアンケートより集計した結果、「①ゴミ・マナー問題、②設備破損、③ペットを連れた利用者の問題」の順で回答をいただき、街区公園及び愛護会の抱えている今後の課題が見えた。

4.4. 公園愛護会の運営体制

愛護会長の特徴としては、70 年代の方が多く、在任年数が 5 年未満という割合が多い結果となった。街区公園自体が公開からまだ新しく、管理する愛護会も結成から年を重ねていないためだと考える。活動の資金としては、都筑土木事務所から各愛護会に一律で支給される 20,000 円と回答した公園が多く、一部、自治会費として活動をする団体もあった。

表 7: 愛護会の担い手に関する情報

町内会	愛護会について		会長について	件数	構成比	
	所属	件数				構成比
町内会	所属	40	82%	5～20	14	29%
	非所属	9	18%		21～40	16
愛護会会員数	3～10	15	31%	41～60	10	20%
	11～20	9	18%	61～86	7	14%
	21～30	5	10%	無回答	2	4%
	31～40	4	8%	30	1	2%
	31～510	4	8%	40	0	0%
	無回答	12	24%	50	4	8%
会長在任年数	0.25～5	25	51%	60	8	16%
	6～10	16	33%	70	26	53%
	11～20	4	8%	80	8	16%
	無回答	4	8%	無回答	2	4%

5 章 運営の促進条件に関する分析

都筑区の街区公園愛護会活動を活性化させる条件を見出すため、「管理面・イベント面」の二つの観点から、アンケート結果を基に重回帰分析を行った。

目的変数のうち管理活動面の「活動日数」「活動種類数」において数値的な特徴が見られた。「活動日数」では、利用者の多さの他、清掃等の管理活動の増加の要素となり得る運動スペースの有無、イベント参加者及び町内・自治会関係者との交流の深い愛

護会で管理活動日数の向上が見られる。「活動種類数」においては、愛護会長の居注意識の高さや愛護会役員の活動年数の長さなどの愛護会の活動体制に関わる要素が影響を与えていると考えられるほか、園内の滞在利用者の増加へ繋がるベンチ、来園者及び前述同様清掃等の管理活動場所を拡張する要素のある運動スペースなどの設置物も関わりを見せている。また、運動スペース同様来園者の増加へと繋がる可能性のある公園の所在地の世帯数の多さ、地区・近隣公園等が置かれているといった周辺立地特性も管理活動の活発化のための要素となると考えられる。

表 8:目的変数一覧

目的変数	説明(算出方法)
管理活動日数	アンケートQ2-2にて回答された各活動頻度(月1.2回程度、週1.2回程度などの回答)を全て日数に変換(例:月1.2回程度→年間24日)した合計値
管理活動種類数	アンケートQ2-2にて回答された各活動の合計値
管理活動参加人数	各活動日数(上記のもの)とアンケートQ2-2にて回答された活動毎の参加人数の積
イベント実施日数	Q4にて回答された公園毎のイベントの年間開催日数の合計
イベント参加人数	Q4にて回答された公園毎のイベントによる公園利用の年間日数の合計

表 9:説明変数の一覧と内訳

公園基本情報	愛護会活動体制	イベント運営	その他
・面積	・町内会所属/非所属	・祭事イベント実施(有無)	・地域団体、人物との交流意識(Q12より)
・遊具・設備の個数	・会員数	・年間イベント参加総人数	
・利用度	・会員の活動年数	・他団体連携数	
・250m圏内の施設の有無	・会長の在任年数		
	・会長の居注意識の高さ		

表 10:重回帰分析 結果

説明変数	R2乗	修正R2乗	偏回帰係数	標準偏回帰係数	t値	P値	単相関
公園利用人数	0.4884	0.4154	4.4048	0.4456	3.6208	0.0008	0.4825
運動スペース(個数)			-109.4155	-0.5076	-3.7085	0.0006	-0.0701
イベント参加者との交流の深化(有無)			98.0980	0.3044	2.3541	0.0233	0.2919
町内会・自治会関係者との交流の深化(有無)	85.3038	0.3166	2.4579	0.0182	0.2959		
会長の定住意識の高さ(5段階)	0.6770	0.6389	-1.2595	-0.4843	-3.2631	0.0026	-0.2476
地区公園の近接(有無)			4.0647	0.5400	3.1552	0.0035	0.1373
ベンチ(個数)			0.3217	0.4691	3.1102	0.0039	0.3832
同一町丁目世帯数			0.0006	0.4023	2.9312	0.0062	0.3343
近隣公園の近接(有無)			2.9103	0.5219	2.8509	0.0076	0.0426
運動スペース(個数)			1.3717	0.4151	2.3979	0.0225	0.1209
愛護会役員の最長活動年数	0.3446	0.2569	2.1348	0.0405	0.1646		

6章 まとめ・考察

公園愛護会では、多くの団体が月1, 2回や年数回程度の清掃や除草活動をしており、定例会の開催に加えて、樹木の剪定や花の世話などを実施している団体もあった。また、自治会町内会や子供会などと連携しながらイベント活動を実施している団体もあり、アンケートの回答をした団体は、比較的活発な活動を行っていることが伺えた。

一方で、公園利用者のマナーの問題や設備の破損などに悩み、愛護会会員の少ない団体が多く、会長をはじめとした高齢化の問題などの担い手の問題を抱えていた。

街区公園の管理活動の活発さは、公園愛護会の町内会所属・非

所属や、周辺の公園・緑道の有無、愛護会会長の定住意識や役員の活動歴の長さ、公園の面積の大きさが関与することが分かった。

愛護会が町内会に所属しその一部として活動している公園は、町内会非所属の公園と比べ他団体との連携件数や管理活動の種類が多い。これは、母体である町内会が公園愛護会と同様に子供会や老人会などの団体をその傘下に置いている場合が多いため、幅広い活動連携が可能となっていることが要因と考えられる。

また、地区公園や緑道などの施設と隣接関係にあることで、街区公園と併せた一体的かつ多様な管理活動の実施が可能であると考えられる。公園の面積の大きさに伴って管理活動の種類が増加すると予想したが、比較的面積が小規模な公園の方が多岐に渡る管理活動を行っているという結果が出た。これは、面積が小さい分、管理が行いやすいために除草や清掃といった基本的な管理活動に留まらず、多様な管理活動に注力出来るためであると考えられる。

イベント面では、町内会に所属している公園はイベントの実施数0件(未実施)の割合が比較的少ない上に、公園1軒あたりのイベント実施数も3件以上開催している所が多い。前述の町内会の幅広い活動連携による広報力の高さが関与していると思われる。公園面積の観点からは、大規模な面積を誇る公園では、それに比例して総参加人数の多いイベントの実施を行っているが、それとは裏腹に面積の小さな公園での総参加人数の多いイベントの開催が目立った。小規模な公園では、ラジオ体操などの実施日数の多いイベントを他の企画と併せて実施している所が多いことが要因であると考えられる。

以上の結果から、各街区公園の管理面・イベント面の活動の活発さは、自治会町内会との緊密な関係づくり、他の地域団体との連携の促進、類似施設との一体的な配置、使い勝手の良い適度な大きさ、会員などが長く活動に関われるような工夫が重要であり、単なる管理にとどまらず、地域コミュニティ形成に向けた一つの核としての活動の展開が重要と考える。

[参考文献]

- 1)横浜市ホームページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/front/welcome.html>
- 2)都筑区ホームページより
 まちであいマップ(つづき 大好きプロジェクト)
 公園愛護会マニュアル
- 3)都筑区ガイドマップ(平成23年11月版)
- 4)健康づくりコースマップ(都筑土木事務所より)
- 5)佐藤隆良・杉田洋・村川三郎・西名大作・平賀慎(2006)「街区公園に利用者評価による清掃品質管理手法に関する研究」日本建築学会計画系論文集, pp. 141~148
- 6)中島正博(2011)「住民団体による街区公園の指定管理とその課題—地域コミュニティ形成と指定管理者制度の利用—」広島国際研究
- 7)遠藤耕平・横田行・室田昌子(2013)「公園愛護会の活動と他団体との連携及び役割に関する研究—都筑区の地区公園を対象にして—」公益社団法人 日本都市計画学会 都市計画報告集, pp. 176~179